2011, 4, 1 No.351

協会だより

(社)秋田市建設業協会

目 次

- 1. 定例会議
 - ○理事会
 - 〇企画委員会
 - 〇工務委員会
 - 〇運営委員会
 - ○三役・委員長会議
- 2. 行事報告
 - ○東北地方太平洋沖地震に伴う工事などについての緊急会議 並びに秋田市発注工事の一時中止措置等要望書提出
- 3. 部会の活動
 - ○建築部会月例会
- 4. 平成23年度秋田市当初予算(関係分)
- 5. 秋田市の人事異動(関係分)
- 6. 協会事務局参与に遠藤博氏就任
- 7. 平成 22 年度工事受注高

1. 定例会議

◎理 事 会 3月28日(月)

報告1. 委員会の委員長報告について

古戸企画委員長・三浦工務委員長・阿部運営委員長より各委員会の審議内 容について報告があり了承されました。

2. 東北地方太平洋沖地震に伴う緊急会議(3月17日)

協会員36名出席し、秋田市契約課工事契約担当2名と燃料や工事資材不 足による工事の工期延長などについて秋田市の対応及び現状把握と秋田市長 への要望について、質疑応答・協議し4項目について要望事項を決定した旨 事務局より報告があり了承されました。

3. 東北地方太平洋沖地震に伴う秋田市発注工事の一時中止措置等要望(3月22日) 林会長が鈴木契約課長に要望書を提出。また、秋田市建築関連団体連絡協議会でも、同要望書を提出したことについて事務局より報告があり承認されました。

議題1. 平成22年度の収支決算見込みについて(3月25日現在)

収支見込み額 35,149,788円

支出見込み額 27,557,412円

次期繰越収支差額 7,592,376 円

であると事務局より説明があり了承されました。

2. 平成23年度一般会計暫定予算(案)について

平成23年度通常総会までの4月・5月の暫定予算(案)について

収支予算(案) 4,000,000円

支出予算(案) 4,000,000 円

とすることで承認されました。

3. 規約第20条別表改正(案)について

平成23年度からの実績割り会費率について、現行の土木1,000分の4%、 建築1,000分の2.5%で25年度まで継続することとし、通常総会に提案す ることに決定しました。

4. 通常総会の日程について

平成23年5月30日(月)午後4時30分からシャインプラザ平安閣秋田で開催することにしました。

5. 東北地方太平洋沖地震に伴う協会の対応について

社会貢献活動として、災害見舞金を今年度予算で10万円を3月30日に 秋田魁新報社に寄託することにしました。 また、協会で防災用衛星携帯電話1台を購入する予算を新年度に計上する 事にしました。

また、協会として被災地へ応援活動するために具体的な内容等について、 秋田市防災安全対策課と随時に協議を進める事にしました。

そのほか、巨大地震に伴う今後の公共事業の見通し等について適宜秋田市 当局から情報収集をする事にしました。

◎企画委員会 3月23日(水)

- 議題1. 平成23年度実施予定事業について
 - (1)講演会・生ビール会…7月下旬に開催する
 - (2)安全祈願祭…平成24年1月中旬に開催する。

また、例年どおり秋田市関係部局長をご招待する。

- (3)社会貢献活動について…公益目的支出計画の公益福祉施設等援助事業やボ ランティア活動について、企画委員会で具体的な 事業内容等(案)について協議し理事会に提案する。
- 2. その他

一般社団法人への移行に伴う課題等について意見交換しました。

◎工務委員会 3月24日(木)

議題1. 平成23年度実施予定事業について

(1)建設部と道路除排雪に関する意見交換会・要望について

6月上旬と10月上旬の2回、建設部長・ゆき対策担当課長ほか数名 と協会20社と課題について意見交換し要望する。

会場 協会3階会議室

- (2)秋田市建設技術協会主催[測量技術研修会]に参加
 - 10月中旬、会場、太平山スキー場オーパス・参加者工務委員会で選任
- (3)秋田労働基準監督署・秋田市・協会との合同安全パトロール
 - 11月上旬 午後1時から5時まで

パトロール現場は、秋田市公共施設監査保全室で選定

- (4)技術講習会(2回)
 - 11月に大学教授等を講師に開催する、会場 協会3階会議室
- 2. その他

東北地方太平洋沖地震に伴う工事の影響、今後の見通しなどについて意 見交換しました。

◎運営委員会 3月25日(金)

議題1. 平成22年度一般会計収支決算見込みについて(3月25日現在)

収入見込み額 35,149,788円

支出見込み額 27,557,412円

次期繰越収支差額 7,592,376円

の見込であると事務局より説明があり、運営委員会として了とし理事会に付 議する事にしました。

2. 平成23年度一般会計暫定予算(案)について

平成23年度通常総会までの4月・5月の暫定予算(案)について

収入予算(案)

4,000,000 円

支出予算(案)

4,000,000 円

とする事務局(案)の説明があり、運営委員会として了とし理事会で決定していただくことにしました。

3. 規約の一部改正(案)について

規約第20条、別表の実績割会費率、土木1,000分の4%・建築1,000分の2.5%を平成23年度・24年度・25年度まで継続する。

改正理由 今後の公共事業の見通し並びに社会経済状況を勘案し継続する。 運営委員会として了とし、理事会で決定頂き通常総会に提案する。

4. 通常総会の日程について(案)

日時 平成23年5月30日(月)午後4時30分

場所 シャインプラザ平安閣秋田

5. その他

一般社団法人への移行課題や東北地方太平洋沖地震に伴う秋田市発注工事 の影響などについて意見交換しました。

◎三役・委員長合同会議 3月8日(火)

協会会議室において、一般社団法人への移行に関する平成23年度予算(案)・協会 運営などの課題について協議しました。

2. 行事報告

【東北地方太平洋沖地震に伴う工事への影響などについて緊急会議】

3月17日(金)、36名出席し協会会議室において秋田市契約課工事契約担当者2名 とガソリン・資材不足による工事の現状や見通しについて意見交換し秋田市当局の方針 などの説明を開き要望事項をまとめました。

- ○秋田市発注工事の一時中止措置等要望書提出(3月22日)
- ○3月28日秋田市長より要望書に対する回答があり会員に送付しました。

3. 部会の活動

◎建築部会月例会 3月22日(火)

26名が出席し3月例会が開催され秋田市の山崎建築課長から「23年度建築関連事業について」講演があり引き続き懇談を深めました。

4. 平成23年度秋田市当初予算(関係分)

平成23年度当初予算など審議する市議会定例会が3月18日(金)に終了し予算案が原案のとおり可決されました。

主な工事関係事業は次のとおりです。

(単位:千円)

9,900

【農林部】

●農道舗装事業 4,000

●かんがい排水事業補助金

●ふるさと農道緊急整備事業 115,577

実施地区 下新城下谷地

事業機関 平成21年度~24年度

23 年度事業 用地買収:1,970 m² 水路工:延長=1,100m

●県単局所防災事業7,803

実施地区 雄和椿川字中村地区

23 年度事業 のり枠工:施工面積=100 m² 擁壁工:延長=20m

●ふるさと林道緊急整備事業 66,520

実施地区 雄和相川地区(林道小杉前線)

事業機関 平成21年度~24年度

【建設部】

●千秋公園整備事業 56,171

23 年度事業 外堀ポケットパークの整備ほか

●都市公園バリアフリー化事業 58,544

事業期間 平成20年度~25年度

23 年度事業 楢山緑地(園路広場工 A=500 m²)

山王帯状緑地(園路広場 A=2,000 m²)

●街路事業			945, 594
外旭川新川線(八橋工区)	L = 1,025 m	W=16m	
外旭川新川線(寺内工区)	$L = 683 \mathrm{m}$	W=18m	
泉外旭川線	$L = 600 \mathrm{m}$	W=25m	
千秋久保田町線	$L = 120 \mathrm{m}$	$W=20 \mathrm{m}$	
●幹線道路整備事業			53, 107
割山南浜線(茨島工区)	L = 620 m W	=16m	
●道路改良事業			306, 946
生活道路改良事業 19路線	k = 1,785r	n	
過疎対策事業 東萓森線	$L = 400 \mathrm{m}$		
鹿野戸安養寺線	$L = 200 \mathrm{m}$		
中の沢線	調査、設計	 	
●側溝改良事業			376, 793
ポプラ団地 1 号線ほか 50]	路線 L=7,500	0m	
●道路維持修繕事業			370, 284
川尻八橋線、岩見庄内線は	: カゝ		,
●橋りょう整備事業			181, 755
本田橋妙法線本田橋 下部			101, 733
本山侗外/山水中山侗 I 口)工事		
●人にやさしい歩道づくり事業			30, 000
川尻広面線(川尻工区)	L=100m 歩	道改良工事	
●電線共同溝整備事業			160, 896
秋田環状1号線 L=18	80m		
川尻広面線(川元工区)	$L = 300 \mathrm{m}$		
●河川改修事業			37, 748
普通河川古川 護岸整備	L=30m(両	岸)、ほか	,
●生活排水路等環境整備事業			61, 724
幹線水路整備 仁井田字	湯中島ほか		
排水路整備 広面字蓮	認ほか		
●融雪施設改良事業			230, 842
	=100 m		<u> </u>
 [新]秋田港四ツ谷線 L=	:398m		
施設修繕費			

●防雪柵等整備事業 4, 166 [新]四ツ小屋大通1号線 基礎工10箇所 ●除排雪関係経費 800,000 ●歩道消融雪設備整備事業 114, 382 秋田環状1号線 $L = 170 \, \text{m}$ 中通本線 $L = 670 \, \text{m}$ 【都市整備部】 8,000 ●[新]秋田杉街並みづくり推進事業 中通二丁目バス停広場(買物広場)待合上屋の修景整備等 ●秋田駅東第三地区土地区画整理事業 1, 192, 632 都市計画道路築造 1 路線 L = 20.0m 区画道路築造 11 路線 L=629.0m 1路線 L= 35.0m 特殊道路築造 砂利道整備 4路線 L=202.0m 28戸 建物移転 ●秋田駅西北地区土地区画整理事業 36, 868 区画道路築造 3路線 L=210.0m 建物移転 1戸 ●既設市営住宅改修経費 9.848 外部物置改築工事 対象団地 外旭川市営住宅(2棟36戸) 36, 906 ●[新] 既設市営住宅耐震改修事業 対象団地 旭南市営住宅(4棟120戸) 【市民生活部】 762, 947 ●斎場改築事業 建物本体工事、付带設備工事、火葬炉設備工事、既存建物解体工事、他 工事費 690, 191 ●北部地区墓地整備事業 33.607 工事費 33. 297 新屋大川端街区公園(園路広場工ほかA=160 m²) 栗田町第二街区公園(管理施設工柵L=400m) 【上下水道局】

1,610,732

●管渠建設事業

●農業集落排水事業の事業推進	413, 395
(1)農業集落排水建設事業	
実 施 地 区 金足地区(黒川・片田・吉田・福田、高岡、浦川、堺	屈内、
岩瀬、下刈、大清水、牛坂の一部)	
受益戸数 561戸 2,210人	
事業期間 平成19年度~25年度	
23 年度事業 管路工(L=5,510m)、マンホールポンプ設置 21 🗈	
実施設計、補償など	
●浸水対策下水道事業(上下水道部)	681, 000
雨水管整備 4 路線(855m)	· ·
▼ >¥ p+ -↓ - +p 3	
【消防本部】 ●消防体制の整備	266, 112
→内の体制の登開 土崎消防署本署改築事業 本体工事、各設備工事等	
上响 仍仍有 个 有 以 宋 尹 未	
【地域振興部】	
●北部市民サービスセンター整備事業	41, 656
外構工事、点字ブロック、案内板の設置工事	
●[新]勝平地区コミュニティセンター改築整備事業	27, 835
勝平地区コミュニティセンターと勝平児童館との複合施設として改築	
事業年度 平成23年度~25年度	
23 年度事業 建築工事	
延べ床面積 1,300 ㎡(コミセン930 ㎡、児童センター370 ㎡)	
【教育委員会】	
●国指定名勝如斯亭園保存整備事業	6, 921
指定外建物 5 棟の解体工事、ほか	
	F 400
●[新]上新城児童室(仮称)整備事業	5, 498
上新城小学校に児童館を設置	
●[新]勝平児童センター(仮称)整備事業	8, 447
事業年度 平成23年度~24年度	
施 設 概 要 遊戯室、図書館、集会室等 延べ床面積 370 ㎡	
●中通児童館改築事業	63, 369
施 設 概 要 游戲室、図書館、集会室等 延べ床面積 249.67 ㎡	

汚水管整備 32 路線 (6,585m) 下水道管改築等 8 路線 (2,365m) 23年度事業 プール建設、環境整備(舗装等)

●中学校増改築等事業(雄和中学校)

627, 886

23年度事業 校舎、体育館、武道場建設(平成23年度~24年度継続費設定)

5. 秋田市人事異動(関係分)

秋田市は3月22日に4月1日付人事異動を発表しました。 関係部課長補佐以上の異動は次のとおりです。

(敬称略)

《新役職》 《旧役職》 《氏 名》

【企業管理者】

上下水道事業管理者 都市整備部長 坂田昌平

【部長級】

 企画財政部長
 財政部長
 石塚博史

 建設部長
 建設部次長
 伊藤隆彦

【次長級】

新庁舎建設室長 新庁舎建設準備室長 **松 橋 弘 明**

連携推進官(環境立市担当)兼務 環境部次長 古 里 正 昭

環境部副理事兼環境都市推進課長 環境部環境都市推進課長 相場修治

環境部総合環境センター所長 環境部向浜事業所長 畠 山 芳 夫

連携推進官(地域産業強化担当)兼務 農林部次長 小島武志

農林部副理事兼農林総務課長 教育委員会事務局学事課長 小 熊 伸 司

建設部次長 総務部副理事兼防災安全対策課長 今 野 郁 夫

建設部副理事兼道路建設課長 建設部道路建設課長 住 田 光 郎

都市整備部次長兼連絡推進官(ブランドあきた担当) 福祉保健部次長兼福祉事務所次長 戸 田 郁 夫

都市整備部副理事兼まちづくり整備室長 都市整備部都市計画課交通政策室長 菅 原 一 彦

【課長級】

総務部防災安全対策課長 総務部防災安全対策課副参事 工 藤 伸 二 総務部防災安全対策課参事 秋田消防署新屋分署長兼当直長 森 合 和 美

公共施設監査保全室参事兼主席専門検査員 公共施設監査保全室副参事兼専門検査員 三浦 司

公共施設監査保全室参事兼主席専門検査員 建設部建築課参事 広 湆 \blacksquare 志 新广舎建設室参事 新庁舎建設準備室参事 嶋 矢 治 和 新广舎建設室参事 新庁舎建設準備室参事 小 原 正 明 新广舎建設室参事 福祉保健部保護課第二課長補佐 徳 行 福 \blacksquare 悦 環境部環境総務課長 環境部環境保全課長 佐 藤 紹 忠 環境部環境総務課参事 環境部環境総務課副参事 高 鳥 雄 藤 茂 環境部環境都市推進課参事 環境部環境総務課参事 加 環境部環境保全課長 環境部環境保全課副参事 水戸瀬 秋 広 環境部総合環境センター参事 環境部総合環境センター所長補佐兼環境総務課副参事 竹 内 圁 環境部総合環境センター参事 環境部総合環境センター副参事 湊 次 雄 勇 環境部向浜事業所長 環境部環境保全課参事 中 島 農林部農林総務課参事 農林部農林総務課長補佐 光 石 Ш 正 農林部農業農村振興課長 坂 孝 彦 農林部農地森林整備課参事 保 兼農業農村振興課園芸振興センター所長 農林部農業農村振興課参事 農林部農業農村振興課副参事 池 \blacksquare 實 農林部農地森林整備課参事 農林部農地森林整備課副参事 石 井 諭 繁 農林部農地森林整備課参事 建設部道路建設課参事 保 坂 建設部道路建設課参事 泉 強 建設部道路建設課副参事 中 建設部公園課施設担当課長 建設部公園課参事兼公園課公園施設管理センター参事 玉 彦 小 邦 建設部建築課長 都市整備部建築指導課長 玉 充 郎 小 教育委員会事務局総務課参事 修 建設部建築課参事 佐々木 都市整備部都市計画課参事 都市整備部都市計画課副参事 進 藤 康 幸 都市整備部交通政策課長 都市整備部都市計画課参事 桜 庭 静 男 都市整備部建築指導課長 都市整備部建築指導課参事 若 松 康 博 門 都市整備部建築指導課参事 都市整備部建築指導課副参事 大 良 之 都市整備部建築指導課参事 都市整備部建築指導課副参事 Ш 孝 則 赤 秋田駅東地区土地区画整理工事事務所参事 秋田駅東地区土地区画整理工事事務所長補佐 奈 良 正一郎 【課長補佐級】 総務部防災安全対策室副参事 西部市民サービスセンター副参事 地 誠 菊

上下水道局水道建設課整備第二係長

佐

藤

信

博

《旧役職》

《新役職》

公共施設監査保全室副参事兼専門検査員

名》

《氏

新广舎建設室副参事 新广舎建設準備室主席主杳 嵯 峨 之 博 新庁舎建設室副参事 財政部管財課副参事 荒川 降 夫 之 新庁舎建設室副参事 地域振興部地域振興課副参事 佐藤 直 環境部環境総務課副参事 環境部総合環境センター副参事 佐 藤 善 昭 美 環境部環境都市推進課長補佐 総務部人事課付副参事 小笠原 利 環境部廃棄物対策課副参事 環境部総合環境センター副参事 保 坂 英裕 農林部農林総務課主席主査 邦 子 農林部農林総務課副参事 小山田 農林部農業農村振興課副参事 上下水道局維持管理課管路情報係長 佐藤 貞 裕 建設部建設総務課副参事 建設部道路建設課副参事 鈴木 功 建設部道路建設課副参事 秋田駅東地区土地区画整理工事事務所副参事 長谷部 亨 建設部道路維持課副参事 建設部道路維持課主席主查 保 坂 正 誠 建設部道路維持課副参事 工藤 都市整備部都市計画課副参事 靖 彦 建設部公園課副参事 鎌田 譲 財政部資産税課副参事 徳 建設部公園課副参事 建設部道路維持課副参事 長谷部 秀 建設部公園課副参事 建設部公園課公園施設管理センター主席主査 胮 伊藤 雄 建設部建築課副参事 環境部総合環境センター副参事 佐々木 康 都市整備部都市総務課副参事 都市整備部都市総務課主席主査 後藤 浩 基 都市整備部都市計画課副参事 建設部公園課副参事 楢 岡 善 治 秋田駅東地区土地区画整理工事事務所副参事 建設部建築課副参事 佐藤 立 美 まちづくり整備室副参事 市勢活性化推進本部副参事 石郷岡 亮

《旧役職》

《氏 名》

6. 協会事務局参与に遠藤氏就任

《新役職》

4月1日付で協会参与に元秋田市まちづくり整備室長の遠藤博氏が就任されました。 会員の皆様よろしくお願いいたします。

7. 平成22年度工事受注高

※ 前倒し工事の受注額は次年度へ参入

平成22年3月31日現在

単位:円

					+12.11		
	種別	22年度	21年度	対前年度増減額	増減(%)		
	道路(舗装除く)	841,520,000	962,567,000	-121,047,000	-12.6		
	舗装	485,140,000	328,949,000	156,191,000	+47.5		
	河川	85,459,000	80,229,000	5,230,000	+6.5		
	上下水道	965,440,000	996,119,000	-30,679,000	+4.9		
土	都市開発(街路・公園)	199,119,000	132,050,000	67,069,000	+50.8		
	区画整理	179,204,000	182,070,000	-2,866,000	-1.6		
木	農業•林業	86,934,000	293,704,000	-206,770,000	-70.4		
·	その他(学校他)	156,593,000	199,997,000	-43,404,000	+176.1		
	計	2,999,409,000	3,175,685,000	-176,276,000	-5.6		
	会員·準会員	2,064,029,000	2,267,959,000	-203,930,000	-9.0		
	非会員	935,380,000	907,726,000	27,654,000	+5.0		
	I						
	学校	367,065,000	1,688,805,000	-1,321,740,000	-78.3		
	住宅	13,268,000	0	13,268,000	皆増		
建	その他	374,627,000	3,581,097,000	-3,206,470,000	-89.5		
	解体	50,937,000	151,607,000	— 100,670,000	-66.4		
築	計	805,897,000	5,421,509,000	-4,615,612,000	-85.1		
	会員·準会員	605,547,000	5,162,317,000	-4,556,770,000	-88.3		
	非会員	200,350,000	259,192,000	-58,842,000	-22.7		
	合 計	3,805,306,000	8,597,194,000	-4,791,888,000	-55.7		
	会員·準会員	2,669,576,000	7,430,276,000	-4,760,700,000	-64.1		
	非会員	1,135,730,000	1,166,918,000	-31,188,000	-2.7		

	種別	土	木	建	築	合計	比率(%)
	区分	受注高	比率(%)	受注高	比率(%)		
22	会員·準会員	2,064	68.8	606	75.2	2,670	70.2
	非 会 員	935	31.2	200	24.8	1,135	29.8
	計	2,999	100.0	806	100.0	3,805	100.0
21	会員·準会員	2,268	71.4	5,162	95.2	7,430	86.4
	非 会 員	908	28.6	259	4.8	1,167	13.6
	計	3,175	100.0	5,421	100.0	8,597	100.0

単付:百万円

			丰屋: 日2711		
		20 年度受注高	21 度受注高	対前年度増減額	増減(%)
合	計	3,805	8,597	4,792	-55.7